

平成 27 年第 2 回国際シンポジウム

「グローバルガヴァナンスと多国間主義の新たな地平」を開催

広島大学平和科学研究センターは、平成 27 年 10 月 16 日、平成 27 年第 2 回国際シンポジウム「グローバルガヴァナンスと多国間主義の新たな地平」を開催しました。

基調講演では、第 67 回国連総会議長で、セルビア元外相の Vuk JEREMIĆ 氏をお招きし、お話ししました。



第 67 回国連総会議長の Vuk JEREMIĆ 氏による
基調講演



I 部の討論で意見を述べる猪口学長

シンポジウムは 2 部構成で、第 I 部では「グローバルガバナンスの新たな展開と課題への挑戦」を共通のテーマとして新潟県立大学学長の猪口孝氏、外務省総合外交政策局軍縮不拡散・科学部長の相川一俊氏、広島大学副学長（国際担当）の西谷元氏が、活発な議論を行いました。

第 II 部では、「持続可能な未来と人間の尊厳の達成に向けて」を共通テーマとして、広島大学平和科学研究センター特任教授・内閣官房参与の木曾功氏、外務省国際協力局地球規模課題総括課長の田村政美氏、広島大学平和科学研究センター助教の小倉亜紗美氏が議論しました。



Ⅱ部の討論の様子



閉会式で挨拶をする西田センター長

参加者からは「世界で活躍されている方の視点はとても鋭く、国際社会が抱える課題とその対策について知ることが出来勉強になった」、「国際社会の課題を解決するためには、教育に力を入れることが重要だと分かった」などの感想が寄せられました。広島大学平和科学センターは、今後もシンポジウムの開催等を通じて、平和科学に関する研究成果の還元、情報の提供を積極的に行い、広島から世界に平和を発信していきます。